

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
花園小	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った
埼玉県	51.9	56.9	56.7	62.6	53.4	50.9

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
花園小	4-A	6-C	6-B	4-B	5-B	6-C
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-B

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
花園小		1	-1		1	0
埼玉県		1	0		1	0

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		花園小	埼玉県	花園小	埼玉県	花園小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	87.6	91.2	90.6	82.5	85.3	80.4
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	80.6	79.3	83.2	77.6	72.1	72.3
	・自分からはっきり挨拶をすることができる	71.9	75.9	86	77.6	80.9	77.9
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	80.5	78.5	78.5	82.4	80.9	84.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	83.1	82.7	90.7	86.7	86	85.1
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	46.9	47.8	45.8	46.2	58.8	46.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	57.5	55.6	60.8	58.8	72.8	60
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	23.9	31.4	22.4	24.9	22.8	19.9
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	75.2	75.2	81.3	77.4	80.1	79.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	73.4	73.5	77.5	71.1	75	61.1
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	68.1	73.3	74.8	69.3	68.4	67.1
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	83.2	82.1	74.8	80	72.1	82
	・国語や算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた(2項目の平均として)	10.7	16.9	11.2	16.7	18.8	22.3
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	24.8	23.1	18.7	25.8	36.7	26.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	84.1	84.8	95.4	88.7	87.5	90.4
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	87.6	92	94.3	92.9	94.8	93.7
	・学級での生活は楽しい	94.7	94.8	96.2	92.5	90.4	91.6

【質問紙分析】

- ・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができている児童が多いことが分かった。学級経営や道徳の指導・生徒指導が全校として行き届いていた結果だと考えられる。
- ・どの学年も「学校生活が楽しい」や「先生や友達が自分のよいところを認めてくれた」の数値が高かったのは、教員と児童の信頼関係が築けていることや学校・学級で支持的風土が形成されている結果であると考えられる。
- ・授業でのタブレットの使用については、どの学年でも県の平均よりも下回った。学力を向上させるために必要なツールであるということを意識して、より効果的な使用について研究していく必要がある。
- ・勉強することが楽しいと答えた児童がどの学年でも少なかった。学習に対して前向きになれるような声かけをするとともに授業改善を目指していく必要がある。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・よくわかる花園小(学校のルール)を徹底する学級経営
- ・自己肯定感や学級への帰属感を高める学級活動の計画・実践
- ・あいさつに対する意識付けと見届け

【国語】

- ・漢字ドリルや漢字小テストへの反復練習
- ・読書月間の設定による読書の奨励
- ・読売新聞ワークシートを活用した読解力の育成(5年生)

【算数】

- ・自力解決や練り上げの時間を確保した授業展開の工夫
- ・練習問題や応用問題に数多く取り組ませるための家庭学習の工夫
- ・タブレットを活用した個別最適な学習
- ・計算ドリル、課題プリント、自習プリントを活用した基礎的・基本的な学力の向上

一人一人をより伸ばすための取組

- ・担任外の教員を算数の時間にT.Tとして各学級で学習が苦手な児童に対する個に応じた支援を行う。
- ・家庭学習の時間を学年×10+10分に設定し、家庭に周知するために学力向上だよりを発行した。
- ・研修で、教員一人一人の授業の質を高めるための指導方法などを話し合い、実践につなげる。